

① 学習指導案 学校指定様式可

プログラム	No.5「地域カルタを作ろう」
単元名 (全11時間)	アサガオさんと高志小学校 ～アサガオさんをどこで育てる?～
学習のねらい	アサガオを育てる場所を高志小学校の中から選ぶ中で、自分の好きな風景（アサガオが喜ぶ風景）を探し、自分なりの思いや願いをもって、アサガオ栽培の場所を選び、育てる。その中で、アサガオへの愛着と共に、自分の好きな高志の景観への思いをもち、地域へ思いを寄せる。さらに、そこで得た思いをカルタに表し、表現することで、自分の好きな高志の景観を他者へ発信し、地域の魅力を広げる。
学習内容	1 アサガオを育てる場所を決める（活動） 2 アサガオを育てる場所についての思いや願いについて考え、カルタに表現する（表現活動） 3 作成したカルタをパワーアップし、地域の方へ伝える（伝える活動） 4 感想を受け、アサガオとそれらが置かれた高志の地域へ思いを寄せる（話し合い）
参考資料 準備品 実施場所等	・カルタシート（読み札・絵札） ・アサガオキット ・高志小学校校舎

学習の流れ




時間	・学習活動	□教師の指導	○評価
① ② (2)	・アサガオを育てる場所を決める。置く。 ※一人ひとり、校舎内であればどこでもよいことにする。	□自分のアサガオの鉢を置く際、子どもたちが思いや願いをもって、鉢植えを置く場所を選ぶことができるような声掛けを行う。	○子どもたちの、その後の振り返りシートを活用して、評価を行う。（場所を決めた理由がしっかりと書かれているか）
③ ④ ⑤ (3)	・アサガオを育てる場所についての思いや願いについて考え、カルタに表現する。	□アサガオの生長の様子と共に、選んだ理由についての思いや願いが表出したカルタになるように声を掛ける。 →カルタ作りの手順と、思いの表出の方法をそれぞれにして説明をする。	○カルタに自分の思いや願いが表出することができているか。
⑥ ⑦ ⑧	・作成したカルタをパワーアップし、地域の方へ伝える（伝える活動）	□下書きカルタを清書カルタにして、地域の方に伝える。	○子どもたちの、その後の振り返りシートを活用して、評価を



(3)			行う。(思いをカルタに載せて伝えようとしている)
⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想を受け、アサガオとそれらが置かれた高志の地域へ思いを寄せる</li> </ul> (話し合い)	□地域の方からの感想を子どもたちの前で紹介し、さらに、アサガオや地域への思いを深める。	○話し合いの様子や振り返りシートを活用して評価を行う。
⑩			
⑪			
(3)			

<留意点>

- ・アサガオを育てる場所を選んだ時には、必ず自分の思いを表現することを欠かさず行い、どんな思いや願いをもって、子どもたちが、アサガオを育てる場所を選んだのかを教師が把握する。
- ・毎日のアサガオのお世話に行っている子どもたちの様子とともに、季節ごとのアサガオと置かれている場所の景観の変化についても、教師が写真に収めるようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 高志小学校				
時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
① ② (2)	学校内 広場 校舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオを育てる場所を決める。置く。</li> <li>※一人ひとり、校舎内であればどこでもよいことにする。</li> </ul>		「先生、私は、保育園の子にアサガオはかわいいと伝えたいから保育園の傍に置いたよ」「ぼくは、地域の人に見てほしいから道路から、山が見える景色の良い場所に置いたよ」と、自分なりの思いをもってアサガオを育てる場所を決める子どもたちの様子が見られました。
		<p>地域の人へ見てほしいと願い道路側に置いた子どものアサガオ</p> <p>アサガオをどこに置いた方が良かったかプレゼンをする子ども</p>		
③ ④ ⑤ (3)	学校教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオを育てる場所についての思いや願いについて考え、カルタに表現する。</li> </ul>	<p>おじいちゃん あさがおさんをおうえんだ</p> 	カルタにすることで、アサガオの様子や、地域の景色の様子をよく見て、アサガオや地域への思いや願いを深めることができ

				た子どもたちの様子が伺えました。
⑥ ⑦ ⑧ (3)	学校内 広場 校舎	・同じ学校の他学年や地域の人へカルタで思いを発表する。		発表の中で、価値づけや地域の方の風景への思いを知り、あらためて自分の地域の風景へ自信をもつことができました。
⑨ ⑩ ⑪ (3)	学校教室	アサガオへの思いと風景への思いを考える。深くする。  自分の考えを発表する子ども		いろいろな方からいただいた反応をもとに話し合いで情報を共有し、作文シートにまとめることで、アサガオと地域を捉え直しました。

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>1年生が景観や地域、環境へ目を向けることができるよう、アサガオを教材として扱う点が一番工夫した点である。目の前の命ある植物への愛着を深め、アサガオの生長を通して景観や地域、環境を捉えることができるようにした点が単元作りにもいかされているのではないかと考える。</p> <p>また、アサガオへの毎日メッセージを書く時間を設定したことも工夫した点である。その場所に置いた思いや願いと共に、その場所の良さや問題点なども明らかになり、アサガオへの思いと、景観（環境）への思いを深めることに繋がった。</p> <p>また、アサガオ会議を開き、情報を共有することで、「アサガオにとって光を浴びることができて気持ちがよい上に、景色もよくて、アサガオさんも喜んでいる」「景色は良いが、蜂がいて危ない」といった、アサガオを通して見えてきた地域の景観についても、共通理解を図ることができた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>学校内と言えど、アサガオを置く場所を、子どもたちに任せると、毎日の水やりなどのお世話において、教師の目の届かなくなりそうな場面がたくさんあった。教師が朝から子どもたちと一緒に、アサガオのお世話に行くことで、怪我無く、アサガオのお世話に向かうことができた。また、同時に、子どもたち一人ひとりのアサガオ、そこに置いた意味について、一人ひとりの思いや願いを追うことにも繋がった。</p>

### (3) 児童の反応

「アサガオを育てる場所を自分で決めよう」と言うと、すぐに、「私は～に置きたい」「僕は～だから、・・・に置きたい」と言った、自分なりのアサガオへの思いや願いと共に、自分の過ごしている地域や環境をよく見ている子どもたちの発言が聞かれた。実際に、置き場所を迷っている子どもたちは一人もおらず、鉢をもって、すぐに、自分なりの置き場所へ向かう姿が見られた。また、アサガオ会議を繰り返していく中で、子どもたちなりの考えの変化が生まれ、鉢植えを置く場所を変更する子もいた。教師が思う以上に、子どもたちは、自分の過ごしている地域や環境について理解をしている、深めていっているのだなと思った。

### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

小学校1年生の段階で、景観や地域、環境について目を向けることは難しいことのように思えたが、アサガオという教材を使うことで、小学校1年生なりの自分の住む地域の景観や環境について考える姿が見られたことに驚いた。子どもたちに、アサガオを育てる場所をゆだねることは容易ではないが、覚悟をもって取り組むことで、子どもたちの景観や環境、地域を見つめる目が広がったことに気づき、引き続き、「子どもの自己選択」については、大切にしていきたい視点だと思った。

残りの2カ月の実施期間についても、引き続き、子どもたちと共に私自身の変化についても考察していきたい。

### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

アサガオの栽培場所を子どもたちにゆだねることで、自分のアサガオを通して地域の景観、自分の大切にしたい場所について自覚することができた。一方で、小学校1年生と言う発達段階もあり、自分の好きな景観の自覚を促すには、毎日の振り返りやアサガオへのメッセージを通して自分とアサガオを同化させるような手立てを講じる必要がある。アサガオの気持ちになって考えることを通して、アサガオの喜ぶ地域の景観に気づき、カルタを通してさらに友達が思う地域の景観の良さを知ることができた。カルタを作成するまでに、子どもたちの内省を促す必要があることが分かった。